

企業名	飯塚産業 有限会社
代表者	飯塚 雅昭
所在地	二本松市宮戸66
T E L	0243 - 23 - 4873
F A X	0243 - 23 - 8348
資本金	1,000万円
従業員数	13名(男性12名・女性1名)
事業内容	産業・一般廃棄物収集運搬 再生資源回収
主要取引先	福島水産物商組・リョーシヨク 北芝電機(株)・天昇電気工業(株)
経営方針	1.安全運転 第一 2.お客様へ誠心誠意の対応 3.共存共栄
業務上の心得	指示を受けたら確認する 業務実行、終了後の確認 連絡・報告は必ず忘れず小さな事でも 気のついた事は報告する 注意・指示を受けたらすぐ実行

企業の特徴

当社は、現在の社長の父親が昭和22年に魚(主にサンマ)のアラを加工し飼料にするためのフィッシュミールを製造する水産加工業を開業、昭和46年2月飯塚商店有限会社として法人成りました。

社長は、宮城県出身で学校卒業後父親が経営していた飯塚商店有限会社に勤務し「魚アラの収集加工処理」について修業しました。同時に後継者として経営面にも携わりましたが、同社加工工場を取り巻く環境として魚特有の臭いと工業団地開発が進行していたことから事業継続が困難となり昭和56年工場を閉鎖しました。

その後、二本松から県北地区を営業エリアとして「魚アラ」を回収し宮城県の塩釜に運搬する業務を5年程度続けました。

昭和61年に中古の廃棄物収集車を1台購入して段ボールの回収を開始しました。しばらくの間は、回収する段ボールの量が不安定なため容易に収益に結びつかず経営を維持することに苦労しました。打開策として、段ボール回収に限らず廃棄物収集契約先を多く確保することが重要と判断し夫婦で営業活動を行いました。当初は不慣れでありなかなか信用を得ることが出来ずうまくいきませんでした。誠心誠意努力した結果契約先も増加、廃棄物収集が軌道

に乗った平成2年12月飯塚産業有限会社に社名変更し、代表取締役に就任現在に至っております。

最初は廃棄物収集車1台での段ボール回収でありましたが、次に一般廃棄物収集運搬の許可取得、さらに産業廃棄物収集運搬の許可(取扱産業廃棄物の種類:12種類)も取得し、現在では廃棄物収集車(5台)トラック等車輛(5台)で再生資源回収も含め二本松から県北地区・郡山市・いわき市を営業エリアとして営業活動を行っており契約事業所数は250先以上にあります。

現在計画中の内容としては、長男が当社社員として勤務して現場部門の修行中ではありますが、今後後継者としても育成して行くことと、事務所と車輛駐車場が点在していることから1カ所に集中し効率化を図ることです。

昨今、環境問題がクローズアップされており、水質汚染・ダイオキシン問題、地球温暖化など世界的に今後の課題となっており当業界が重要視されてきています。その中で「当社がその課題に対しお客様とともにできるものは何か」を基本に取り組みしており、全社員が全力を尽くして継続してまいりたいと熱く語っていただきました。

